

2012年

島根県立松江北高等学校図書部発行 2月号



らいぶらりい

February



図書委員による図書紹介

◎昨年末、学園通りの今井書店で、1・2年の図書委員が、読んでみたい本を見計らい選書しました。今回の紹介はその第2回目にあたります。読書の参考にして下さいね。㊦㊦㊦

早草紀子『なでしこの教え』 (武田ランダムハウスジャパン)

25R 宇都宮 里彩

なぜなでしこJAPANがワールドカップで優勝することができたのか？ということや、なでしこのあきらめな心を作る50の教えなど、なでしこJAPANの魅力を知ることのできる一冊です。なでしこの50の教えでは一つ一つに選手の写真が載っているので、とても読みやすいです。他にも選手紹介や、世界のなでしこになるまでの道のりなど綴られているので、これを読めばあなたもなでしこ博士になることができますよ。㊦

佐々木 譲『エトロフ発緊急電』 (新潮社)

18R 陰山 由佳

太平洋戦争が始まった要因である、真珠湾奇襲について事前に米軍が奇襲があることを知っていたという説がありますが、その際の諜報戦の話です。舞台が世界中の様々な所へ移り変わり、当時の生活の様相なども見えてきます。激動の時代を生き抜いていく人々の活写が魅力的な本です。㊦㊦㊦

湯浅健二『日本人はなぜシュートを打たないのか？』(アスキー)

15R 川本 桃子

男子のW杯ベスト16に始まり、アジア杯優勝、女子のW杯優勝と、今注目を集めている日本のサッカー。勝つ試合が多くなってきたとはいえ、シュート数はまだまだ少ない。外国の選手は遠くからでもシュートを打ってきたりと、積極的に打つのに対し、日本人はゴール前でも打たなかったりする。ではなぜ、日本人はシュートを打たないのか。この本では湯浅さんが自分の体験に基づき、分かりやすく語っているのでぜひ読んでみてください。㊦㊦

重松 清『せんせい』(新潮文庫)

17R 小豆沢 愛由美

この本ではいろいろな先生が登場します。一人の生徒を好きになれなかった先生、厳しくすることでしか教え子に向き合えなかった先生がいます。そのような先生と生徒をめぐる六つの物語が書かれています。

今は分からなくても、大人になってやっとわかることはたくさんあるのだと気づかされる一冊です。㊦㊦

日本の名作委員会『知らないと恥ずかしい「日本の名作」 あらすじ200本』(宝島社文庫)

25R 高野 耶也子

日本には数多くの文学作品があります。あなたは、どのくらいの作品を知っているでしょうか？この本では、古典から有名作家作品、そして最新ベストセラーまで、様々な文学作品のあらすじが紹介されています。この本に紹介されている作品ぐらいいは知っておかないと恥ずかしい。けれど、それはとても難しいことです。そんなあなたは、この本でサクッと読んでしまいましょう！そして、面白かったら、ぜひ原典を読んでみてください。㊦㊦㊦

人間人間 『昨日は彼女も恋してた』(アスキーメディアワークス社)

12R 熊谷 友里江

小さな離島に住む僕と、車いすに乗る少女・マチは不仲。そんな2人が、なぜか時空を超えた。僕は驚き、そして思いつく。やり直すことができる、と。ずっと後悔していたことを、この、過去という『現在』で一。

と、いう不思議な話なのですが、文章のテンポもよく、登場人物たちの会話も私たちと変わらない感じなので、本当にこんなことが起こるのは、とったり(笑)。『明日も彼女は恋をする』と上下二巻構成。㊦㊦㊦

村山 斉『宇宙は本当にひとつなのか』(講談社)

17R 新延 弘章

宇宙の構成をご存じだろうか？おそらく、星や銀河が大半を占めていると考えるだろう。しかし、宇宙のうち星や銀河は、たった0.5%なのだ。では、何が大部分を占めているのだろう。それは、暗黒物質(ダークマター)と暗黒エネルギー(ダークエネルギー)だ。なぜ、「暗黒」かというと、分からないからだ。結局、このわけのわからないモノがどれだけを占めるかがというと、約96%である。続きは、本でお読みください。㊦㊦㊦

歌野晶午 『死体を買う男』(講談社文庫)

16R 橋本 侑季

乱歩の未発表の作品が発表された！？『白骨鬼』というタイトルで雑誌に掲載されるや大反響を呼ぶ一南紀・白浜で女装の学生が首吊り自殺を遂げる。男は、毎夜月を見て泣いていたという。乱歩と詩人萩原朔太郎が事件の謎に挑む本格推理。実はこの作品には二重三重のカラクリが隠されていた。一度読み始めると止まらず、とても面白いので推理好きな人もそうでない人もぜひ読んでください。㊦㊦㊦

東野 圭吾『サンタのおばさん』(文藝春秋)

14R 田原 玲於菜

感想を一言で言うと、題名を見て飛びついて読んだら、期待を裏切らない、深く考えさせられる、しかしユーモアも兼ね備えている作品でした。各国のサンタクロース達が、女のサンタを認めるか討論するのですが、各国のサンタクロースらしい性格や悩みを抱えていたり、そもそも皆が持っているサンタクロースのイメージに改めて気づかされ、誰もが知らずのうちに差別や偏見をしているという事実に気づかせてくれる作品だと思います。㊦㊦㊦

葉田甲太 『僕たちは世界を変えることができない』(小学館)

22R 来海 大樹

なんとなく流れていく日々が退屈で仕方がないと思っているある大学生の男が、自分の人生はこのままで良いのかと思い、何か面白いことを探していた。そんなある日、振り込みをするため渋谷の郵便局を訪れ、「150万円の寄付でカンボジアに学校が建つ」というパンフレットを見つけ、それを実行しよう、と思い行動する。その過程の中で読んだ人に色んな事を考えさせるような作品で、映画化もしました。ぜひ読んでみてください。㊦㊦㊦



貸し出し数昨年度を大きく上回る!

今年度もあと1ヶ月、がんばって本を読みましょう!

図書紹介（続き）

かみじま柚水『9割がバイトでも最高のスタッフに育つディズニーの教え方の物語』（角川学芸出版）

11R 小池 瑞季

突然ですがみなさん、ディズニーの徹底したサービスの裏側にどんな秘密があるかご存じですか？そこにはディズニー独自のキャスト（ディズニーの従業員）の教育方法があったのです。ビジネス書はちょっと…という人もこの本はノベライズ化してあるのですらすら読めると思います。自分の進む道に迷っている人も、この本で答えを見つけてみてはいかがでしょうか。📖📖📖

道尾秀介『向日葵の咲かない夏』（新潮文庫）

24R 川谷 愛

夏休みを迎える終業式のある日。先生に頼まれ、欠席した旧友のS君の家を訪れた。そこで妙な音が聞こえ、中に入るとS君は死んでいた。だがその衝撃もつかの間、彼の死体は忽然と消える。そしてその一週間後、彼はあるものに姿を変えて現れた。「僕は殺されたんだ」と訴えながら。僕は妹のミカと彼の無念を晴らすため事件を追いつづけた。読んでいくにつれどんどん面白くなり引き込まれます。ぜひ、読んでみてください。📖📖📖

＊＊閉館のお知らせ＊＊

3月6日(火)午後～9日(金)まで

高校入試と蔵書点検作業のため。

貸出と8日と9日の朝の利用。→×

返却(入り口のポストへ)→○

★返しそびれている本はこの機会に返ししょう。★蔵書点検は図書館の本の確認をする大事な作業です。ご協力をよろしくお願いし

東日本大震災から一年 あの日のこと、あの日からのこと、これからのことを読もう！①

この一年、みなさんも常に東北地方を意識していたと思います。報道も多く、悲惨な状況や被災された人たちの苦労を見聞きする機会も多かったでしょう。そして本も多く出版され、北高図書館でもたくさん入れましたが、みなさんはどれくらい手にとってくれたでしょうか？震災から一年が経とうとする「今」、改めてこの災害の大きさ、深刻さ、そして希望を感じたいと思います。

この一年で新しく入れた関連本はとても多く、紙面では紹介しきれません。展示コーナーに集めてあります。リストも用意していますので参考にしてください。また、福島第一原発事故関連の本は3月号で紹介します。

報道写真

被災した地域の姿

369 東日本大震災 100人の証言
3・11ひとびとは何を見たのか 朝日新聞出版

369 東日本大震災 報道写真全記録
2011・3・11～4・11 朝日新聞出版
369 東日本大震災 読売新聞特別縮刷版
1か月の記録 読売新聞社

369 特別報道写真集 平成の三陸大津波
2011・3・11東日本大震災 岩手の記録
岩手日報社 メディア・パル

池上彰の学べるニュース5

東日本大震災と福島原発問題 海竜社
池上さんの被災地レポートから「私たちのすべきこと、できること」を考える

東日本大震災 心をつなぐニュース

池上彰＋文芸春秋 編 文芸春秋
被災した地元県紙から感動の震災ニュースを記事とともに届ける。

369 前へ！ 東日本大震災と戦った無名戦士たちの記録 麻生 幾 著 新潮社

原発に放水し続けた自衛隊員、被災地への道を確保するため、遺体と瓦礫に埋め尽くされた道と格闘した国交省整備局員、警視庁機動隊、ハイパーレスキュー隊、災害派遣医療チーム…命を賭けた者たちの壮絶な記録。

369 笑う、避難所 石巻・明友館136人の記録 頓所直人 編 取材・文 名越啓介 写真

「誰ひとり、死なせないー公の支援が届かない自主避難所でリーダーは天啓を受けた。」そしてこの自主避難所は、わずか数週間後には在宅避難者や児童施設に救援物資を届ける「支援する避難所」に役割を変えた。高齢者を含む136人は生き抜くためにどう闘ったのか。奇跡の避難所に長期密着取材！

子どもたちは

つなみ

被災地のこども800人の作文集 文芸春秋
子どもたちが感じた「つなみ」や「避難生活」を書いた作文。この文章から何かを感じてほしい。

369 「つなみ」の子どもたち 作文に書かれなかった物語 森 健 著 文芸春秋
…家族も生活の中心には子どもの笑顔があった。子どもの前を向く力が家族の救い。作文を書ってくれた子どもたちの「その後」。10の家族の喪失と再生、涙と希望のドキュメント。

369 高校生、災害と向き合う 舞子高等学校環境防災科の10年 諏訪清二 著 岩波書店
全国で唯一の「環境防災科」の生徒たちが、学んだことを生かし、世界の被災地で活動。災害と向き合う若者たちの姿を通してこれからの防災教育やボランティアのあり方を考える。

救助・救援活動のために戦う人たち

498.8 石巻赤十字病院の100日間
東日本大震災医師・看護師・病院職員たちの苦闘の記録・救命
不眠不休の極限状態の中、命のとりでとなった病院スタッフたちの100日間の災害医療ドキュメント。

498 救命 東日本大震災、医師たちの奮闘
海堂尊 監修 新潮社
津波が全てを奪っても、命の可能性を信じ続けた9人の医師たち。生と死を分けた壮絶な現場を語るドキュメント。

369ドキュメントボランティアナースが語る
東日本大震災 キャンナス 編 三省堂
被災地域粋を志願した述べ5000人のナースらの現地報告。東北支援の最前線奮闘記。

傷ついた心

493 災害ストレス 直接被災と報道被害
保坂 隆 編著 角川書店
大災害から受けるストレスをどのように乗り越えるか。知っておきたい正しい知識とストレス対処法。

震災トラウマと復興ストレス

宮路尚子 著 岩波書店
被災した人、支援する人、その周囲にいる人…それぞれが抱えるストレスと震災のトラウマが及ぼす複雑な影響を理解し、向き合い、支えあうための本。決してひとごとではありません。

369 宮城県気仙沼発！ファイト新聞
ファイト新聞社 著 河出書房新社
震災から1週間後の3月18日、避難所で暮らす小学生の呼びかけで始まった「ファイト新聞」。ルールは一つ「暗い話は書かない」。避難所を元気づけた子どもたちの壁新聞を創刊からの全号収録。

369 3・11あの日のこと、あの日からのこと
震災体験から宮城の子ども・学校を語る
みやぎ教育文化研究センターほか 編
かもがわ出版
多くの教師達があの日体験したことを文章に。「なんとしても、3・11をことばとして残したい。それが今、私たち教師のだいたい仕事である…」言葉の力を信じ、その力に頼りながら、教育の再生に取り組む。

人を思う心

369 マイケル・サンデルの大震災
特別講義 わたしたちはどう生きるのか
日本人が見せた混乱の中での秩序と礼節は世界の目にはどう映ったのか。

917 YELL 東日本大震災チャリティーブック アスコム 編 アスコム
傷つきながらも「ありがとう」があふれた。インターネット上にあふれた応援メッセージ集。

E 津波 命を救った稲むらの火、その後
小泉八雲 原作 高村忠範 文・絵 汐文社
安政の東海・南海地震による津波から大事な稲に火を放ち、村人を救った長者の話。その後では村再建のため、防波堤を作り、村の人の生活と安全に尽くした話。

